

きづがわしの水道

～安心・安全な生活と快適な暮らしを支える水道～



タツタワー木津川市

平成31年度水道事業会計 予算の概要

収益的収支・税込

(単位:万円)

項目	平成31年度 当初予算	平成30年度 当初予算	比較
収入	水道料金	126,050	121,500 4,550
	手数料	387	507 △ 120
	下水道負担金	6,273	5,893 380
	他会計負担金	1,019	1,058 △ 39
	財政調整基金繰入金	0	10,600 △ 10,600
	長期前受金等戻入額	47,067	29,385 17,682
	受託工事収益	0	0 0
	その他(広告収入等)	289	301 △ 12
計		181,085	169,244 11,841
支出	職員人件費	15,555	15,613 △ 58
	動力費	11,667	11,664 3
	薬品費	535	531 4
	受水費	45,684	44,876 808
	検針委託料	1,327	1,980 △ 653
	修繕料	5,126	5,153 △ 27
	支払利息	3,024	3,289 △ 265
	減価償却費	78,511	74,800 3,711
	貸倒引当金	1,700	1,000 700
	受託工事費	0	0 0
	その他(施設維持費等)	17,756	15,513 2,243
	予備費	200	125 75
	計	181,085	174,544 6,541
差引		0	△ 5,300 5,300

資本的収支・税込

(単位:万円)

項目	平成31年度 当初予算	平成30年度 当初予算	比較
収入	加入金	7,235	10,403 △ 3,168
	工事負担金	8,288	2,575 5,713
	一般会計出資金	3,507	5,788 △ 2,281
	府補助金	0	0 0
	企業債	0	0 0
	開発分担金等	1,000	1,000 0
	計	20,030	19,766 264
支出	建設改良費	54,937	49,238 5,699
	企業債償還金	9,742	9,112 630
	財政調整基金積立金	1,000	1,000 0
	予備費	100	100 0
	計	65,779	59,450 6,329
	差引	△ 45,749	△ 39,684 △ 6,065

※収入と支出の差額は、過年度留保資金等で補てんします。

平成31年度水道事業会計の予算が3月市議会定例会において可決されましたので、その概要をお知らせいたします。

水道事業会計は、水道水をつくりたり、施設の維持管理のための経費を扱う収益的収支と、水道管の更新や施設の建設などをを行う資本的収支に分かれています。

まず、収益的収支について、ご紹介します。平成31年度の水道料金収入は、隔月検針導入初年度の影響がなくなり、前年度に比べて4,550万円の増加となっていきます。財政調整基金繰入金（赤字補てん）は皆減し、今年度から黒字経営に転換できる見込みとなっています。長期前受金等戻入額は、平成28年度から取り組んできた資産整理・アセットマネジメント業務の成果に基づき、減価償却費に係る財源を再算定した結果、1億7,682万円の増加となっています。また支出では、動力費を節電の取組によりほぼ前年度並みに抑えられる見込みとなっています。受水費は夏場の水需要の増加に対応できるよう808万円増としています。検針委託料は、今年度から隔月検針が通年となるため、653万円減少しています。その他では、古い山城高区配水池などの残存価格を一括して除却するために増額となっています。

次に資本的収支は、収入では、加入金が3,168万円、一般会計出資金が2,281万円、前年度に比べ減少していますが、公共下水道工事などに伴う木津川市からの負担金が5,713万円増加する見込みとなっています。また支出では、水道管の布設替工事（延長4,406m）、舗装復旧工事（面積11,810m²）のほか、吐師受水場のテレメーター装置取替工事（5年計画の最終年度）、観音寺浄水場監視設備取替更新工事、タツタワー木津川市・吐師受水場・船屋浄水場・観音寺浄水場の各施設で高圧電気機器取替更新工事を行う予定です。

今後10年間の計画をまとめた「木津川市新水道ビジョン」を策定しました。

本市水道事業は、将来的には人口減少により給水収益が減少する一方で、耐震化・老朽化対策に必要な経費の増大、加えて大規模災害を踏まえた災害対策など、今後、水道事業を取り巻く環境はより一層厳しさを増すのは必至であり、こうした様々な課題に対応し、将来にわたり安定かつ持続可能な事業運営を進めるための指針として、「木津川市新水道ビジョン」を策定しました。

「木津川市新水道ビジョン」は、2019年度から10年間の計画で、本市水道事業の目指す将来像及び中長期的な事業運営の方針を示すとともに、将来像を実現するための具体的な施策や取り組み事項などをまとめています。ここでは、抜粋して紹介させていただきます。

(1) 基本理念

安心・安全な生活と快適な暮らしを支える水道

(2) 基本方針、施策目標、施策体系

『基本方針』	『施策目標』	『具体的な施策（取り組み）』
	<p>I 水質管理の充実と強化</p> <p>II 安全な給水水質の確保・</p>	<ul style="list-style-type: none">① 水安全計画の運用② 水質管理体制の充実と強化③ 水源水質の監視と水源の保全④ 貯水槽水道設置者への啓発活動⑤ 鉛製給水管の効率的な布設替え
	<p>I 水道施設の計画的な更新</p> <p>II 水道施設の耐震化</p> <p>III 危機管理体制の強化</p>	<ul style="list-style-type: none">① 水道施設（浄水場、配水池等）の更新② 管路の更新③ 净水（受水）施設の耐震化④ 配水施設の耐震化⑤ 管路の耐震化⑥ 危機管理体制の充実⑦ 応急給水設備等の充実⑧ 水道施設の総合監視⑨ バックアップ対策⑩ 非常用電源設備の整備
	<p>I 安定した水源の確保</p> <p>II お客様サービスの向上</p> <p>III 経営基盤の強化</p> <p>IV 業務の効率化</p> <p>V 人材育成と技術の継承</p>	<ul style="list-style-type: none">① 水源計画の見直し② お客様サービスの充実③ 広報活動の充実④ お客様ニーズの把握⑤ アセットマネジメント（資産管理）の実践⑥ 経営の健全化⑦ 料金体系の見直しの継続的な検討⑧ 水道事業の広域化・広域連携⑨ 民間委託の推進⑩ 組織体制の再編⑪ 人材育成と技術の継承



(3) 経営戦略

経営の改善策	収入の確保 (実施中の取り組み)	① 有料広告の拡充 ② 水道施設ネーミングライツの実施 ③ 内部留保資金の運用 ④ クレジットカード収納の導入 ⑤ スマートフォン決済の導入 ⑥ 財政制度の活用	平成27年度より実施中 平成27年度より実施中 平成28年度より実施中 平成29年度より実施中 平成30年度より実施中 継続的に実施中
	収入の確保 (実施検討中の取り組み)	① 開閉栓手数料の徴収 ② 加入金・分担金の見直し ③ 企業などの誘致 ④ 遊休地の利活用	
	支出の削減 (実施中の取り組み)	① エコオフィスの推進 ② 電力の大口契約締結 ③ 検針月の臨月化 ④ 資産の再整備による減価償却費の見直し	平成28年度より実施中 平成30年度より実施中 平成30年度より実施中 2019年度より反映予定 平成28～30年度に 精査・再整備
	支出の削減 (実施検討中の取り組み)	① 業務委託の推進 ② 受水単価の要望 ③ 広域化・共同化の推進	2020年度の府営水道 料金改定に向け、単価 の値下げを要望

詳しくは木津川市のホームページで公開しておりますので、ぜひ一度ご覧いただきますようお願いします。

本ビジョンに掲げた施策や事業を着実に進め、将来にわたって安全で安心な水道水をお届けできるように努めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

木津川市ホームページ ホーム>暮らす>上下水道>水道からのお知らせ

木津川市水道料金及び公共下水道使用料審議会 公募委員を募集します。

水道料金及び公共下水道使用料審議会は、市長の諮問に応じて上下水道の料金や事業などについて調査・審議する審議会です。

この審議会に市民の皆様にご参加いただき、様々なご意見をお伺いしながら上下水道事業経営の安定化や料金体系、サービスのあり方などを検討するため、公募委員を募集します。

詳しい内容、申込方法、申込書は、市ホームページで確認、ダウンロードしていただけます。また、過去の会議の内容も見ていただくことができます。

申込期間 6月3日（月）～21日（金）

木津川市ホームページ ホーム>暮らす
>上下水道>水道からのお知らせ



ご応募をお
待ちしております。

木津中央配水池(城址公園隣) ～JR木津駅から東を望む～



ネーミングライツにご協力いただける
企業様をお待ちしています。